

第5回 スポーツと酸化ストレス・抗酸化 セミナー

～2020年東京オリンピック・パラリンピックでの日本代表選手の躍進に向けて～

会場 ステーションコンファレンス東京 501AB
東京都千代田区丸の内1-7-12 サビアタワー5F

日時 2018年9月30日(日)12:30～16:50(受付11:45～)

参加費 一般¥10,000 ユーザー¥5,000 *通訳付

定員 100名(定員になり次第締め切らせて頂きます)

懇親会 参加費：¥5,000
場所：同ビル3F「パピラノサビアタワー店」
時間：17:10～18:30

主催 株式会社ウイスマー/レドックス分析センター

後援 International Observatory of Oxidative Stress (Italy)



アスリートコンディショニングにおける酸化・還元バランスとリポドミクス

2014年より開催しております本セミナーは、今回で5回目を迎えて頂きます。この4年間でスポーツ選手の体調やパフォーマンスとd-ROMs(酸化ストレス)・BAP(抗酸化力)テストとの関連が一段と明らかになって参りました。酸素摂取量の多いスポーツ選手にとっては「内因性抗酸化物質」の産生力を高め、「外因性抗酸化物質」をより積極的に摂取し、体の酸化・還元バランスを良い状態で維持してゆくことは、コンディショニング上、極めて重要です。

エネルギー源となる脂肪酸の生体内のバランスは、酸化・還元バランスに強い影響を与えています。体内の脂肪酸プロファイルは「リポドミクス脂肪酸テスト」で網羅的に解析できます。不足している必須脂肪酸を的確に補給することは、体内で急激に発生する活性酸素種から筋肉脂肪を守り、好記録を出す要素と考えられています。

本セミナーでは、国内外から計8名の先生方にスポーツと酸化ストレスの関係、スポーツとリポドミクスの関係、積極的な抗酸化物質の積極的な摂取法等についての最新研究をご講演頂きます。

2年後に迫りました東京五輪・パラリンピックでの日本選手の活躍を切に願い、多くの競技指導者・支援者・競技者の皆様のご参加をお待ち致しております。

株式会社ウイスマー 代表取締役社長 **関 泰一**



特別講演1
国際酸化ストレス研究機構(イタリア)会長
Eugenio Luigi Iorio 先生
演題 Redoxomics(酸化還元解析)とLipidomics(脂肪酸解析)のスポーツに関する最新研究

特別講演2
福島大学 人間発達化学類 教授
福島大学 陸上競技部 監督
川本 和久 先生
演題 スポーツにおける酸化ストレスとの影響を知り、絶対調を作り出そう

基調講演
日本陸上競技連盟 顧問
佐々木 秀幸 先生
演題 スポーツ科学への取り組み-2020東京オリンピックに向けて

講演1
中部大学 生命健康科学部 スポーツ保健医療学科 准教授
堀田 典生 先生
演題 漸増負荷運動時の酸化還元状態の変化

講演2
早稲田大学 スポーツ科学学術院 准教授
宮下 政司 先生
演題 スポーツ科学における酸化ストレスの評価と応用

講演3
大東文化大学 スポーツ健康科学部 教授
琉子 友男 先生
演題 長距離選手のコンディショニングと酸化ストレス測定

講演4
早稲田大学 スポーツ科学学術院 教授
鈴木 克彦 先生
演題 運動誘発性酸化ストレスへの好中球の関与

講演5
国立病院機構京都医療センター 臨床研究センター 予防医学研究室 室長
坂根 直樹 先生
演題 褐色脂肪組織(BAT)とリポドミクス



お申し込み・お問合せ

株式会社ウイスマー TEL: 03-5802-7333 FAX: 03-5802-7332 E-mail: info@wismerll.co.jp

